

## 久留米附設中学校入試 算数

2024年 1月20日実施

### 算 数

- 1 (1) 1.111(小数指定) (2) 32(度) (3) 19, 24, 49, 99  
 (4) (ア) 25.12(cm<sup>3</sup>) (イ) 62.8(cm<sup>2</sup>)

- 2 (1) 平(年)

理由：(例)2100は、4で割り切れ、100で割り切れるが、400で割り切れないから。

- (2) 19(回) (3) 28124(日後の) 木(曜日)

- 3 (1) 55 (2) 77 (3) (ア) 263 (イ)

250	272
228	249



- 4 (1) 18(cm<sup>2</sup>) (2) 9(cm<sup>3</sup>) (3) (ア) 3(cm) (イ) 36(cm<sup>3</sup>)

- 5 (1) (ア) 18.56(cm<sup>2</sup>) (イ) 6.28(cm<sup>2</sup>) (2) 2.71(cm<sup>2</sup>)

- (3) 9.42(cm<sup>2</sup>) (4) 19.27(cm<sup>2</sup>)

【講評】大問数は昨年同様5題であったが、4年ぶりに問題用紙が2枚構成に戻った。昨年は立体図形を中心に超難問が出題されていたが、今年は、過去問の類題も出題され、受験生は落ち着いて取り組むことができたと予想される。問題の取舍選択を誤らなければ、例年に比べ時間に余裕があった受験生もいたと思われる。しかし、大問2、3では、正確に素早く計算する力が求められた。

- 1 計算と小問集合。角度の問題、数の性質はやや難度が高かった。
- 2 2024年がうるう年であることに関連する問題。うるう年の回数は、書き出した受験生も多かったと思われる。(3)は時間をかけ過ぎずに次に進みたい。
- 3 三角数を利用した数表の問題。答えとなる付近の数字を書き出すことで、(3)(ア)まで確実に正解したい。
- 4 正四面体の問題。1辺の長さが分からないため不安になるが、3cmの場所に気づけば解くことができる。英進館の6TZ生は、附設攻略本と冬期のプリント教材で類題を解いている。
- 5 久留米附設で頻出の図形の回転移動。半径が分からないおうぎ形の面積を丁寧に計算する必要がある。

### 【算数予想配点 (150点満点)】

- 1, 2, 5 6点×15問  
 3 (1)(2), 4 (1)(2) 8点×4問  
 3 (3), 4 (3) 7点×4問

※1 (3), 3 (3)(イ)完答

2 (1)(3)各解

